

OCF発 第78号
2008年3月14日

特定非営利活動法人 ほっとねっと
理事長 伊藤 満様

財団法人 大阪コミュニティ財団
会長 野村明雄
理事長 石橋三洋

助成決定のご通知

拝啓 早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、貴会からの助成申請につき、厳正かつ公平に審査・選考を行い、下記の通り助成させて頂くことが当財団の理事会にて決定致しましたのでご通知致します。

あわせて、貴会の益々のご発展、皆様方の更なるご活躍を心からお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 助成対象事業

持続可能なまちづくりを担う次世代を育てたい！

2. 助成金額

¥136,000.

3. 助成基金

この助成金は当財団に寄せられた次の基金によるものです。

柏岡精三記念基金

4. 支給手続

①銀行振込します。別添の「銀行振込依頼書」に記入のうえ、3月28日（必着）までにご返送下さい。4月下旬に銀行振込致します。なお期限までに返送無き場合は助成辞退とさせていただきますのでご注意ください。

②入金をご確認の後、別添の「領収書」に日付、住所、団体名、代表者名を記入のうえ、押印して4月末日までに着くようご返送下さい。

7. 助成申請内容の要約（エッセンス）

自然体験や異文化交流など、多様なプログラム、取り組みを 2005 年から始まった「持続可能な開発教育のための国連 10 年」（ESD）の理念に基づき、参加型手法による教育で「持続不可能」な環境に陥っている地球や地域を再生して、皆が暮らしやすい持続可能な社会づくりのために、今の世の中のしくみを代わる多様な代替案を提案し、実行できる力を身につけた次世代を育成するためというひとつの核心の下に統合、総合して年間を通して相互に関連、連携しながら展開していく。

それぞれが「依存」をしっかり自覚して、個人や地域の自立に向けて、さまざまな交流を繰り返しながら、それぞれが主体的に社会と関わるということが当たり前となるような教育のあり方を重視した活動内容にする。

それぞれの取り組みが相互に関係しているということ。

答えはひとつではない、ということ。

結果に行き着くまでのプロセスを大事にする、評価する、という土壌をつくること。

イベントに参画するなど、社会貢献力を楽しみながら身につけること。

誰かがシンドイ思いを背負うのではなく、いかなるときも「相互支援」が成り立つようにすること。

などを大事にして ESD を展開していく。

貴団体について

19. 名称 特定非営利活動法人ほっとねっと	20. 代表者 伊藤 満	役職 理事長
21. 住所 〒630-8133 奈良県奈良市大安寺 1-23-1 県解放センター2階		
22. TEL: 0742-64-0015		FAX: 0742-64-1640
23. E-mail: npohotnet@yahoo.co.jp Home page: http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html		
24. 事務責任者 寺前 美加	25. 従事者総数 22人、うち雇用者 1人、ボランティア 21人	
26. 設立: 2002年3月30日	27. 事業区域 奈良県	
28. 団体の目的 人権の擁護、環境の保全、男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成 (すべての人の人権がさまたげられることのない「まちづくり」の推進)		
29. 主な事業項目 1. 冒険遊び場「ひーとびーとの森」の運営 2. ワークショップ形式の人権研修の企画 3. 水平社博物館とその周辺地域のガイド 4. 情報弱者へのIT推進 5. 困難を抱えた若者支援 6. 異文化相互理解のための英語フリートーク 7. 菜の花プロジェクト 8. 人権相談		
30. 最近、成果をあげた活動、団体の特徴 「社会にある差別(格差)をなくすために、個々人の「生きる力」を養い、それぞれが自尊感情を持ち、自立することが重要である」との共通の理念で複数の事業を展開している。それぞれの事業はESD(国連持続可能な開発教育のための10年)の取り組みと位置づけ、それぞれの取り組み間の連携や、他団体とのつながりを大事にしている。2006年度「ニート・引きこもりなど困難を抱えた若者支援事業」「人権啓発コーディネーター・ファシリテーター養成講座」 2007年度「奈良を知りたい外国人と奈良を伝えたい人の出会うカフェ」など。 2006年から「アースデイならSOUTH」参画		
31. これまでに当財団の助成を受けている場合		
助成年度	事業名	助成金額
2007年度	ひーとびーとの森・子どもと確かめる淀川源流域の環境	145000円
その事業の成果、あるいは課題などがあれば、ご記入ください。 か愛のある講師の指導により、単にその日限りの川の生き物観察や環境調べではない、その後の子どもの生活が生き生きしたり、家族関係が良くなったりと未来につながるような活動ができた。(現在事業途中)		

32. 収支の概要

	2006 年度決算 (円)		2007 年度見込 (円)		2008 年度予算 (円)	
<収入の部>						
繰越金						
会費収入	225000		275000		275000	
事業収入	事業内容	金額	事業内容	金額	事業内容	金額
	情報格差克服事業	1401000	情報格差克服事業	1500000	情報格差克服事業	1500000
	人権研修事業	609634	人権研修事業	500000	人権研修事業	500000
	ガイド養成・派遣事業	1076550	ガイド養成・派遣事業	1000000	ガイド養成・派遣事業	1000000
	冒険遊び場事業	16600	冒険遊び場事業	50000	冒険遊び場事業	50000
			社会弱者支援事業	20000	社会弱者支援事業	20000
	小計	3103784	小計	3070000	小計	3070000
補助金	寄付者・名目	金額	寄付者・名目	金額	寄付者・名目	金額
寄付金	寄付金等	6740	寄付金等	1200000		1250000
	助成金	2655500				
	小計	2662240	小計	1200000	小計	1250000
その他	内容	金額	内容	金額	内容	金額
	通帳利息	939				
合計	5991963		4545000		4595000	
<支出の部>						
事業費	事業内容	金額	事業内容	金額	事業内容	金額
	情報格差克服事業	496700	情報格差克服事業	600000	情報格差克服事業	600000
	人権研修事業	1056322	人権研修事業	300000	人権研修事業	300000
	ガイド養成・派遣事業	236700	ガイド養成・派遣事業	300000	ガイド養成・派遣事業	300000
	冒険遊び場事業	923655	冒険遊び場事業	500000	冒険遊び場事業	500000
	社会弱者支援事業 (若者の居場所)	1482698	社会弱者支援事業	1000000	社会弱者支援事業	1000000
			人権相談事業	200000	菜の花プロジェクト	50000
	小計	4196075	小計	2900000	小計	2950000
管理費	351740		645000		645000	
人件費	951620		1000000		1000000	
合計	5499435		4545000		4595000	
<収支差額>						
収支差額	492528		0		0	